

収益の未収 《決算整理》

・収益の未収とは、当期に計上すべき収益であるにも関わらず、その受け取りが（ ）となるため、処理されていない部分をいう。そのため、決算において（ ）の収益として見越し計上をしなければならない。これは、適正な期間損益計算の把握のために行われる。

・《未払収益（受取利息の場合）の仕訳》

(未収利息)	×××	(受取利息)	×××
----------	-----	----------	-----

・この未収分の収益は、当期における収益をまだ受取っていないことから（ ）の勘定となる。

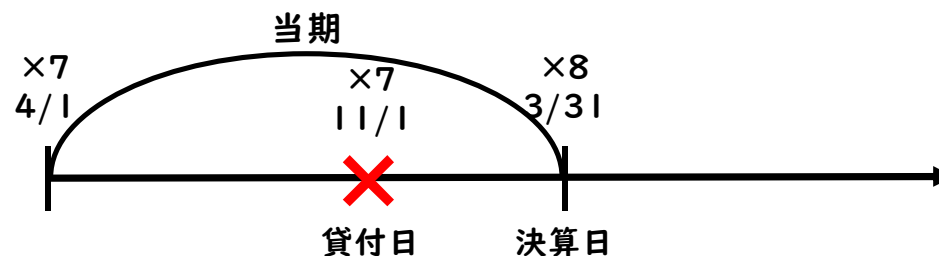
・なお、仕訳の際には、「未収利息」「未収家賃」など具体的に書くが、B/Sに表示する場合はまとめて（ ）と表示する。

・また、未収収益は翌期首に（ ）を行うことで、次期分の収益をマイナスさせる。

仕訳の練習問題

・下記の取引について、仕訳を行いなさい。なお、会計期間は×7年4月1日から×8年3月31日である。

- ×7年11月1日、A社に対し、現金60,000円を貸付けた。なお、貸付期間は1年、年利率2%、利息は返済時に受け取ることにする。
- ×8年3月31日、決算につき利息の未収分を計上する。
- ×8年4月1日、未収利息の再振替仕訳を行う。
- ×8年10月31日、貸付金の満期日となり、利息とともに現金で受取った。



- () ()
- () ()
- () ()
- () ()
() ()